

# 学校建築の「これまで」と「これから」 — 主体性を育む学校 —



千葉工業大学 デザイン科学科  
教授 倉斗綾子

# 私の研究の視点

「学校」という空間を

子どもたちの「学び」「生活」「育ち」のための環境にしたい

# 今日の学校を取り巻く状況

2020年スタート「学習指導要領」  
「個別最適な学び」  
「主体的・対話的で深い学び」  
「協働的な学び」等学び方が提示

「GIGAスクール構想」本格実施  
児童生徒「一人1台端末」  
「Wi-Fiによるネットワーク」完備

「令和の日本型学校教育」

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」

# 新しい学習指導要領スタート



どのように学ぶの? (主体的・対話的で深い学び)

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのよう

ように学ぶか」も重視して授業を改善します。

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」  
と思える授業に



見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

> [主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について詳しくはこちら\(PDF:2.03MB\)](#)

令和3年から順次実施され始めた新しい学習指導要領では、これまで**学習内容のみ**を提示してきた**指導要領**の歴史で、初めて**教育方法**として

**「アクティブラーニング」**

を導入することが謳われた。

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に

何を (WHAT) : 内容



どのように (HOW) : 方法

周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

**アクティブ・ラーニング**

**「主体的・対話的で深い学び」** がなぜ必要なのか？



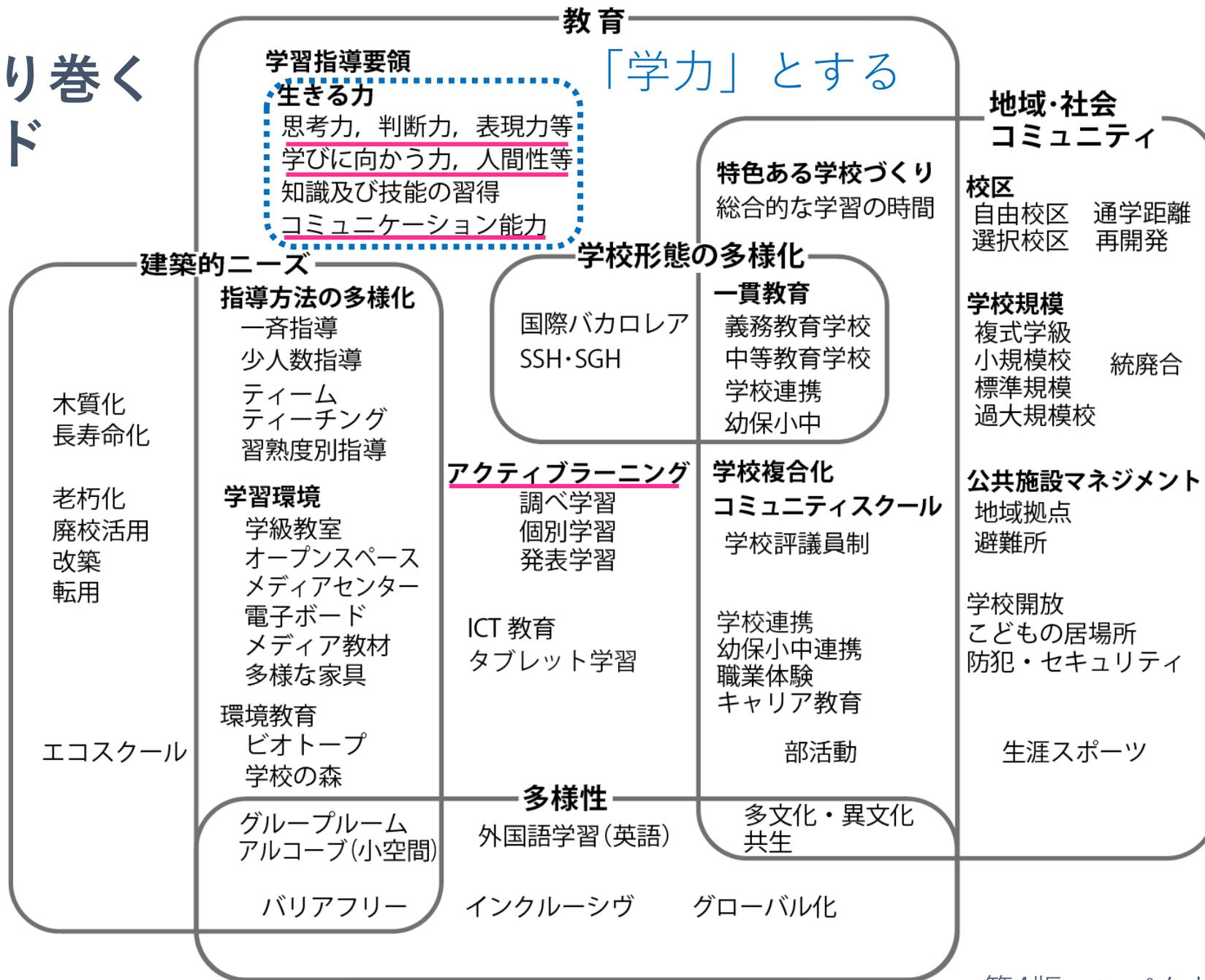
なぜ今、主体性を育む教育が重要視されているのかを教えてください



主体性を育む教育が今重視されているのは、社会や経済の変化が急速に進む中で、変化に柔軟に対応し、自分で考え行動できる人材が求められているからです。具体的には、以下のような要因が背景にあります。

1. 社会の多様化と不確実性の増加
2. 情報の膨大化と真偽の見極め
3. イノベーションの推進と社会貢献
4. 教育改革の流れ
5. キャリアの多様化と自己実現

# 学校を取り巻く キーワード



# 学校を取り巻く キーワード

教育

学習指導要領

生きる力

思考力, 判断力, 表現力等  
学びに向かう力, 人間性等

地域・社会

コミュニティ

特色ある学校づくり

## 学習指導要領

新しい「学力」観

### 生きる力

思考力, 判断力, 表現力等

学びに向かう力, 人間性等

知識及び技能の習得

コミュニケーション能力

木  
長

老  
廃  
改  
転

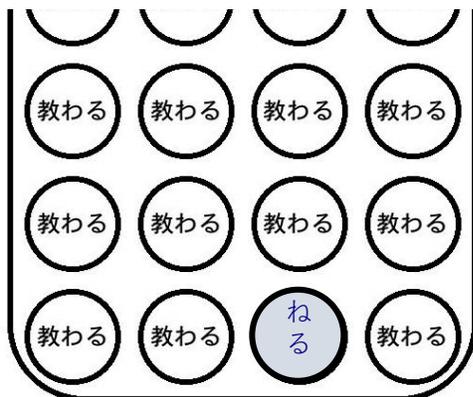
エ  
コ

ハ  
ワ  
ク  
サ  
ー  
ン  
イ  
ン  
フ  
ル  
ー  
シ  
ョ  
ン  
ク  
ロ  
ー  
バ  
リ  
ゼ  
ー  
シ  
ョ  
ン

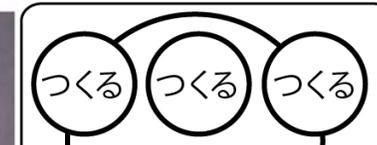
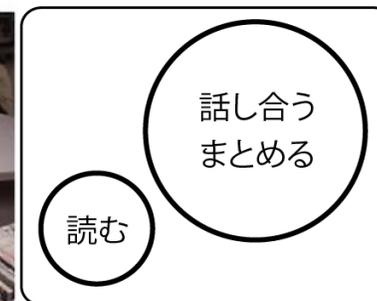
# オープンで多様な教育とは？ →→個別最適な学び・協働的な学び



伝統的な一斉授業。  
一場面で切り取られる活動が  
「教える－教わる」のみ



教わる＝読む・聞く・書くの複合

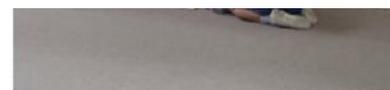


それぞれが主体的に学ぶ  
異なる活動が混在する  
「多様な学習」の風景



子どもたち一人ひとりに、  
学びの

「時間」「空間」「方法」を委ねる



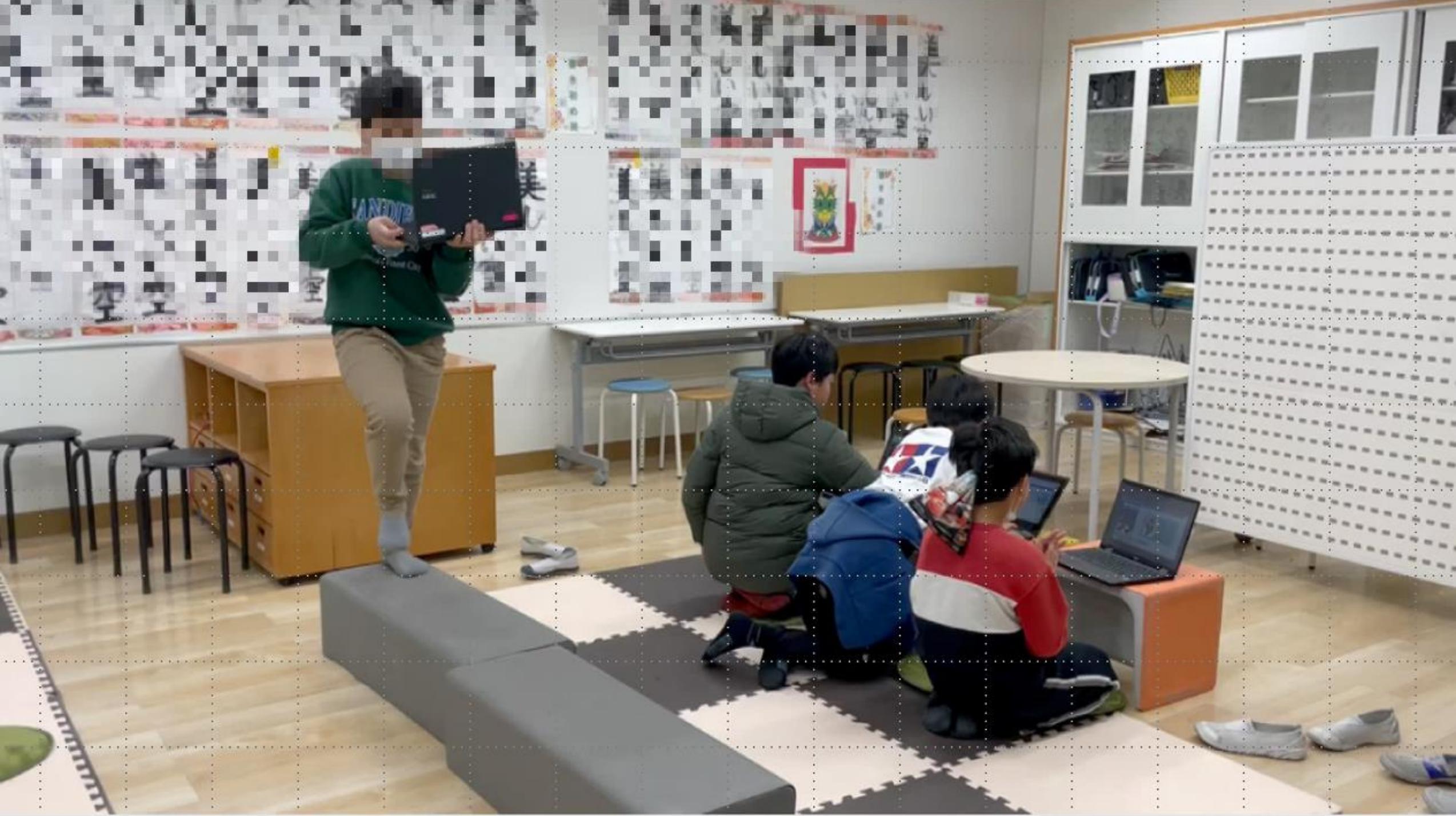
# 個別最適な学び・協働的な学び → 一人1台端末の時代



↑ 理科, 図工, 体育でも

紙に記入, タブレットに記入  
キーボード入力, 手描き入力





# HYBRIDな時代 実空間の価値とは何か。

(Virtual空間) オンライン / オンサイト (Physical空間)

オンデマンド / オンタイム

カリキュラム / 余白時間

プログラム / 雑談

演習 / 失敗

必然 / 偶然

習得 / 経験

formal / informal

特に【**学び方**】の習得・出会いに  
実空間の価値は高いのではないか



# 学習環境 = 「教室」 ではない時代へ

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」では、**学校全体を学習環境として捉えていく**ことが謳われている。  
一方、国内の多くの学校建築は「教室」という従来の学習形態に対応させた**空間**を廊下に沿って並べた**従来型校舎**である。

→ **主体的な学び**を可能にする「**学習環境**」の**選択肢**が必要

ii-1 関係: 多様な学習活動が展開できる空間



ii-2 関係: 学習活動に柔軟に対応できる多目的な空間



ii-3 関係: ロッカースペースの配置を工夫した空間



# 学習環境 = 「教室」 ではない時代へ



オーダーメイドの服：サイズぴったり  
私だけのサイズ



授業のための教室・特定教科専用の特別教室  
従来型の学校デザイン



# 学習環境 = 「教室」 ではない時代へ



いろいろ着られる大きな布



オープンプラン・多目的スペース



着るためのスキル・知恵が必要

[https://www.gizmodo.jp/2016/07/100\\_145.html](https://www.gizmodo.jp/2016/07/100_145.html)

80～90年代のオープンスクール

→ **flexibilityのある環境**



学習環境 = 「**教室**」ではない時代へ

様々なサイズ，デザイン，素材の選択肢



これから

バリエーション豊かな「場」を散りばめる  
**selectability** のある環境



多様な選択肢

## 主体性を育む環境=selectability のある環境

### 学び方を選べる

**環境**を選べる：デジタル，アナログ，明るい，暗い，柔らかい…

**場所**を選べる：教室，廊下，多目的スペース，屋外，図書室…

**姿勢**を選べる：椅子に座って，床に座って，寝転んで，しゃがんで…

**仲間**を選べる：クラスで，一人で，グループで，オンラインで…

**時間**を選べる：時間をかけて，短時間で，同時進行で…

多様な選択肢

# 主体性を育む環境=selectability のある環境

## 居場所づくりの実践例

場所を選べる

姿勢を選べる

素材を選べる

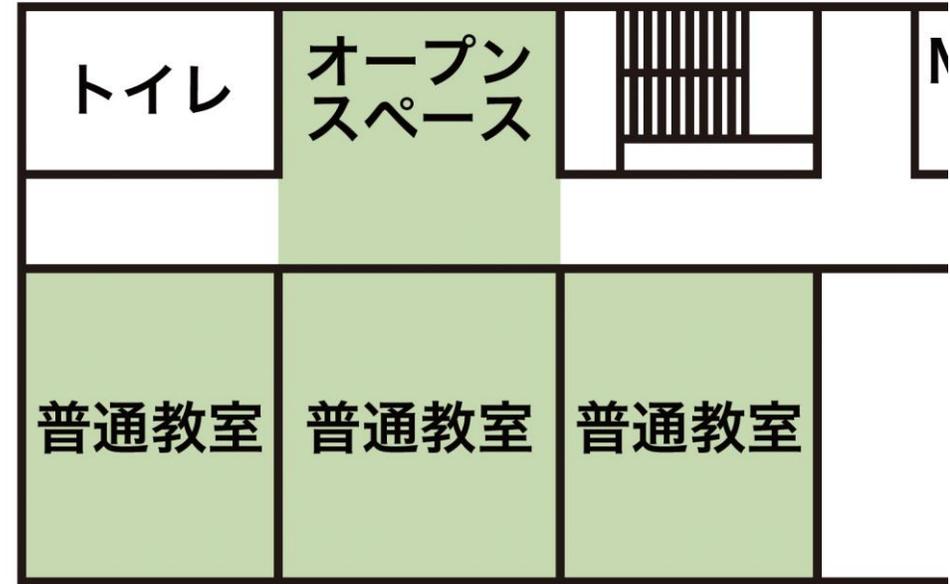
仲間を選べる

# 教員と協働による環境づくり

調査対象校 板橋区立IJ小学校

竣工年	校舎面積
2020年	3,571 m <sup>2</sup>
構造	
鉄筋コンクリート造、一部その他	
学級数 (R4)	児童数 (R4)
18	573

■ : 対象とした学習環境の範囲例



2F 3年生ユニット拡大図

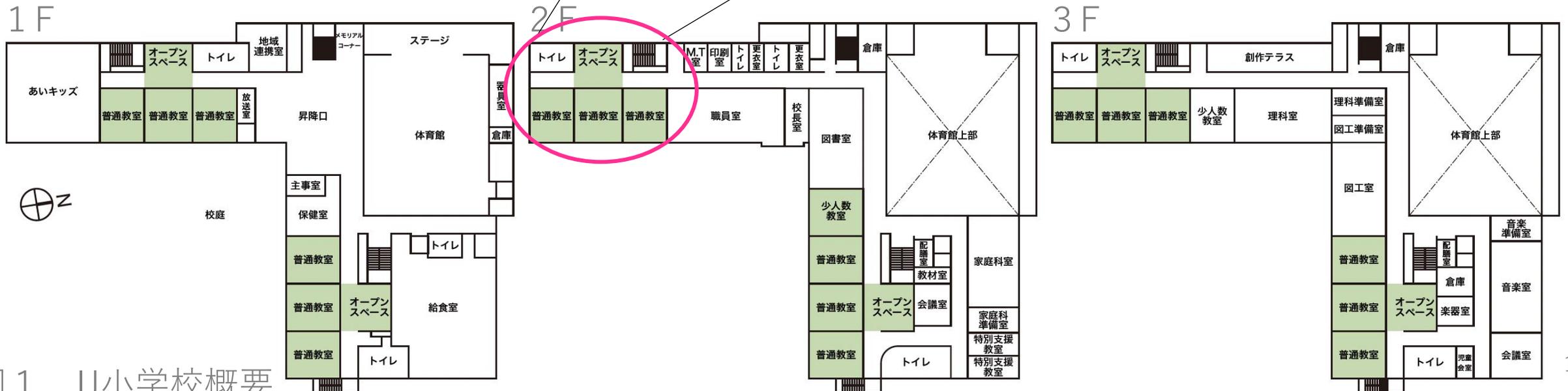


図1 IJ小学校概要

# 教員と協働による環境づくり

## 環境づくりと主体的な学び



実践前の学年O.S.の様子 2021年1学期まで

2021年9月



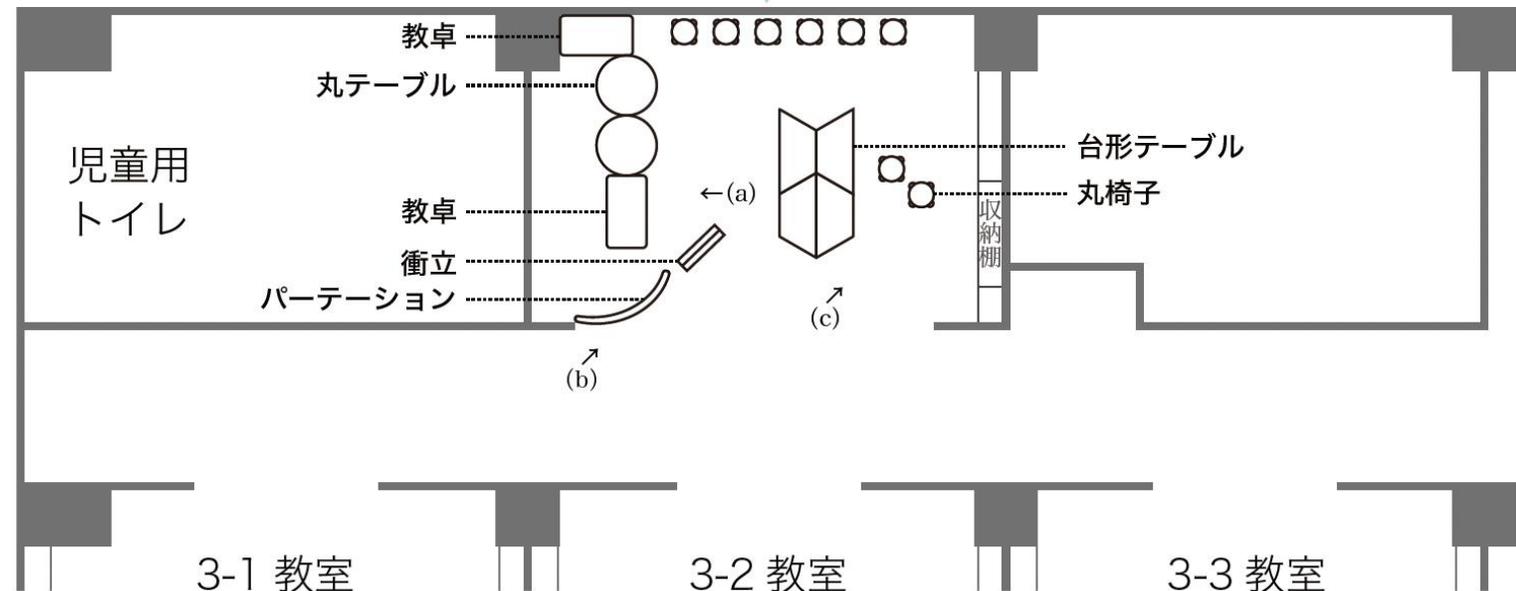
(a) 3年 O.S. 南側



(b) 3年 O.S. 西側



(c) 3年 O.S. 北側



O.S.の学習環境づくり  
実践前の様子。  
夏休みの自由研究の  
展示に利用されている

## 追加要素

ソファ

折り畳み椅子

板段ボール

2021年10月



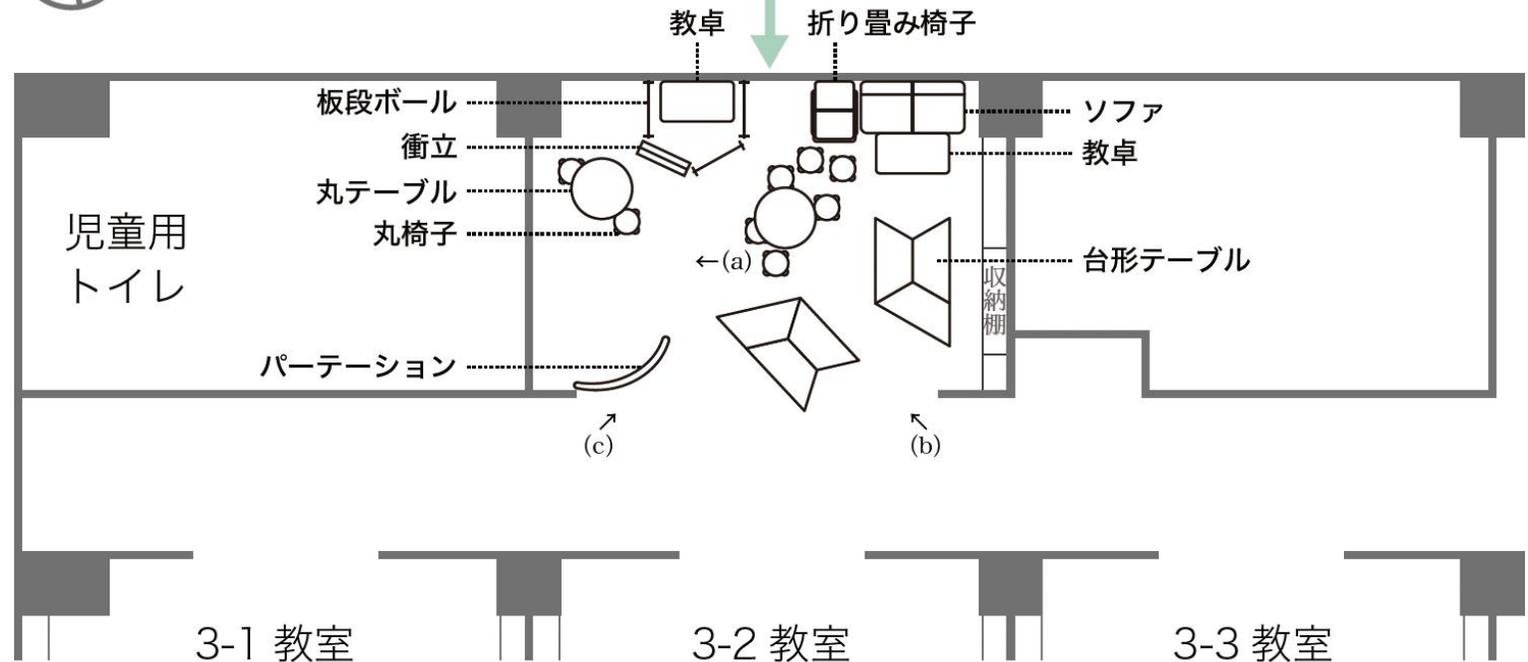
(a) 3年 O.S. 南側



(b) 3年 O.S. 西側



(c) 3年 O.S. 北側



「集中できる場」  
「1人になれる場」  
「話し合える場」の実  
現を目指し，環境づく  
り開始。板段ボールに  
よる衝立やソファを持  
ち込む

## 追加要素

マット

畳

学習机

箱形スツール  
(キャンパスブロック)

学習椅子



(a) 3年 O.S. 南側

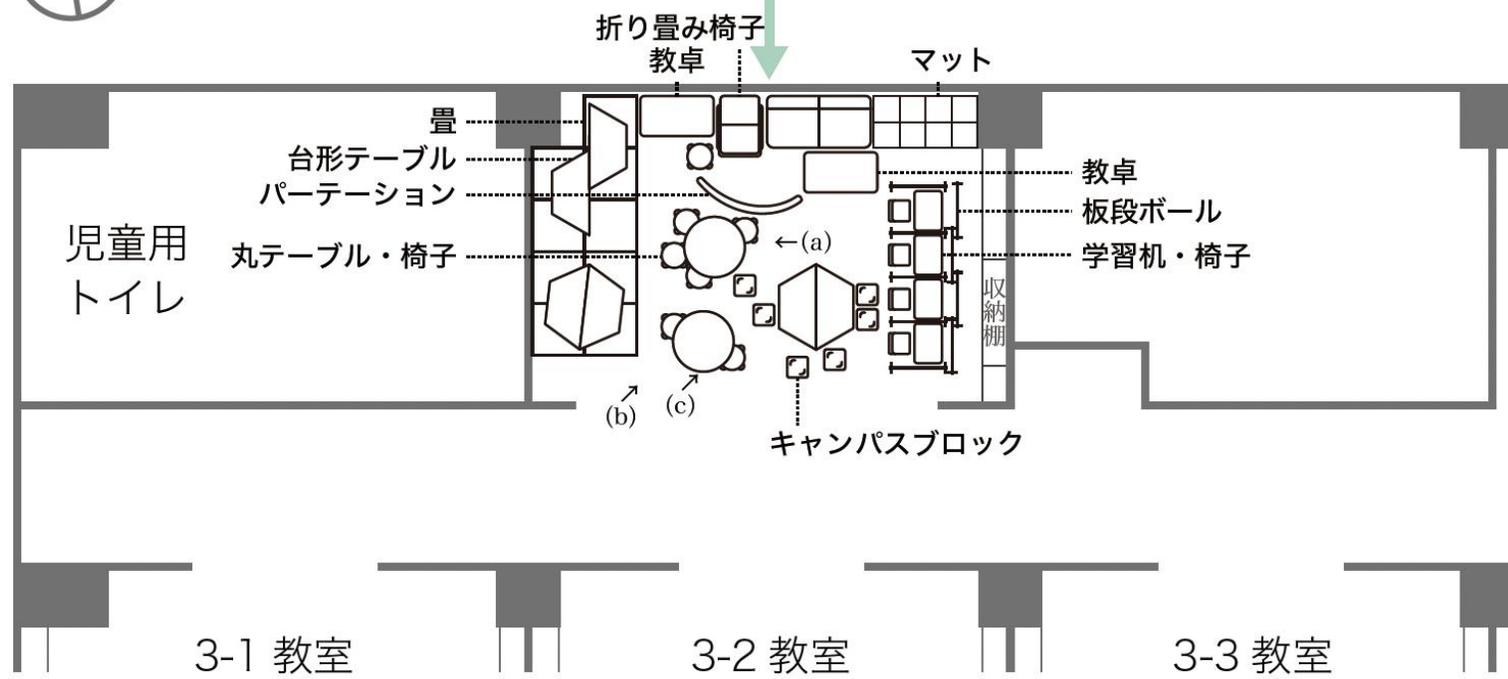


(b) 3年 O.S. 西側



(c) 3年 O.S. 北側

2021年11月



畳，マット，教室用机，箱形スツールが追加され，居場所の選択肢が増える。個人ブースも設置された。

# 追加要素

本棚

学習教材

2021年12月



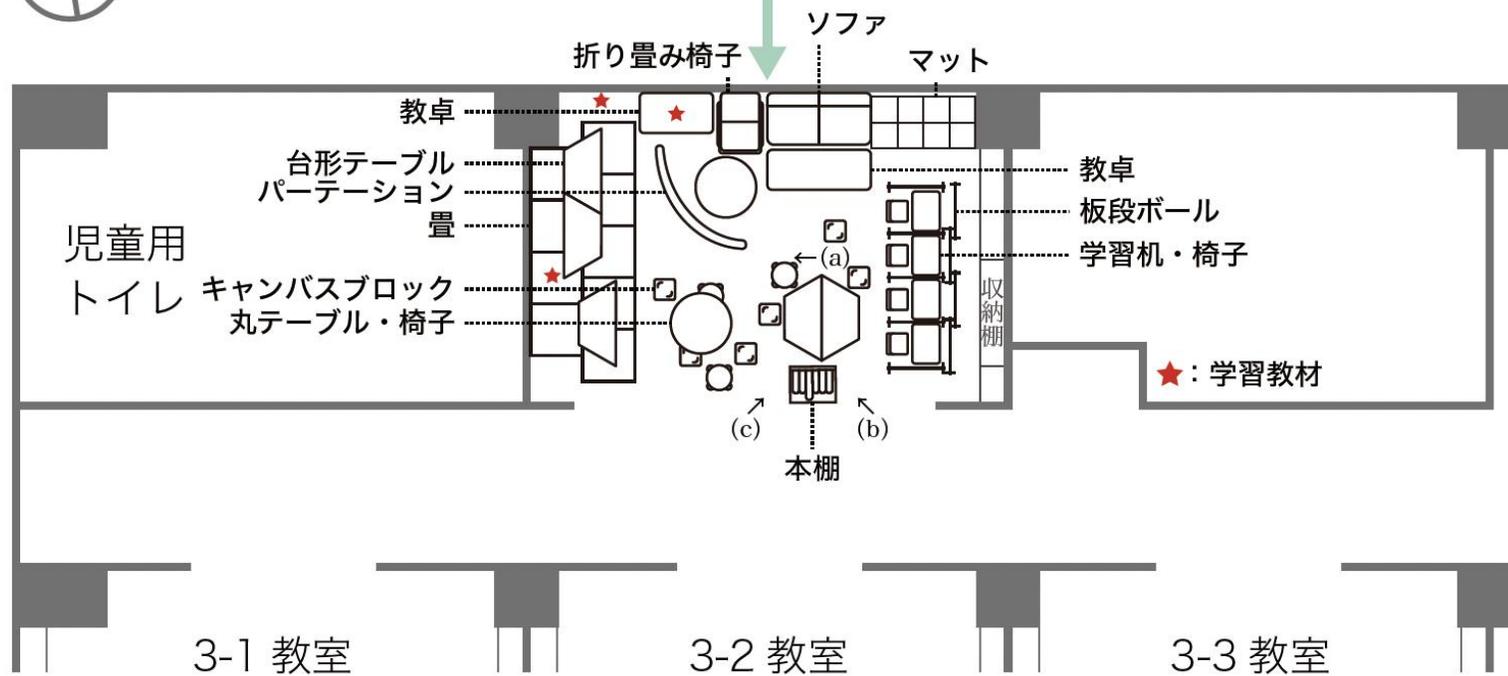
(a) 3年 O.S. 南側



(b) 3年 O.S. 西側



(c) 3年 O.S. 北側



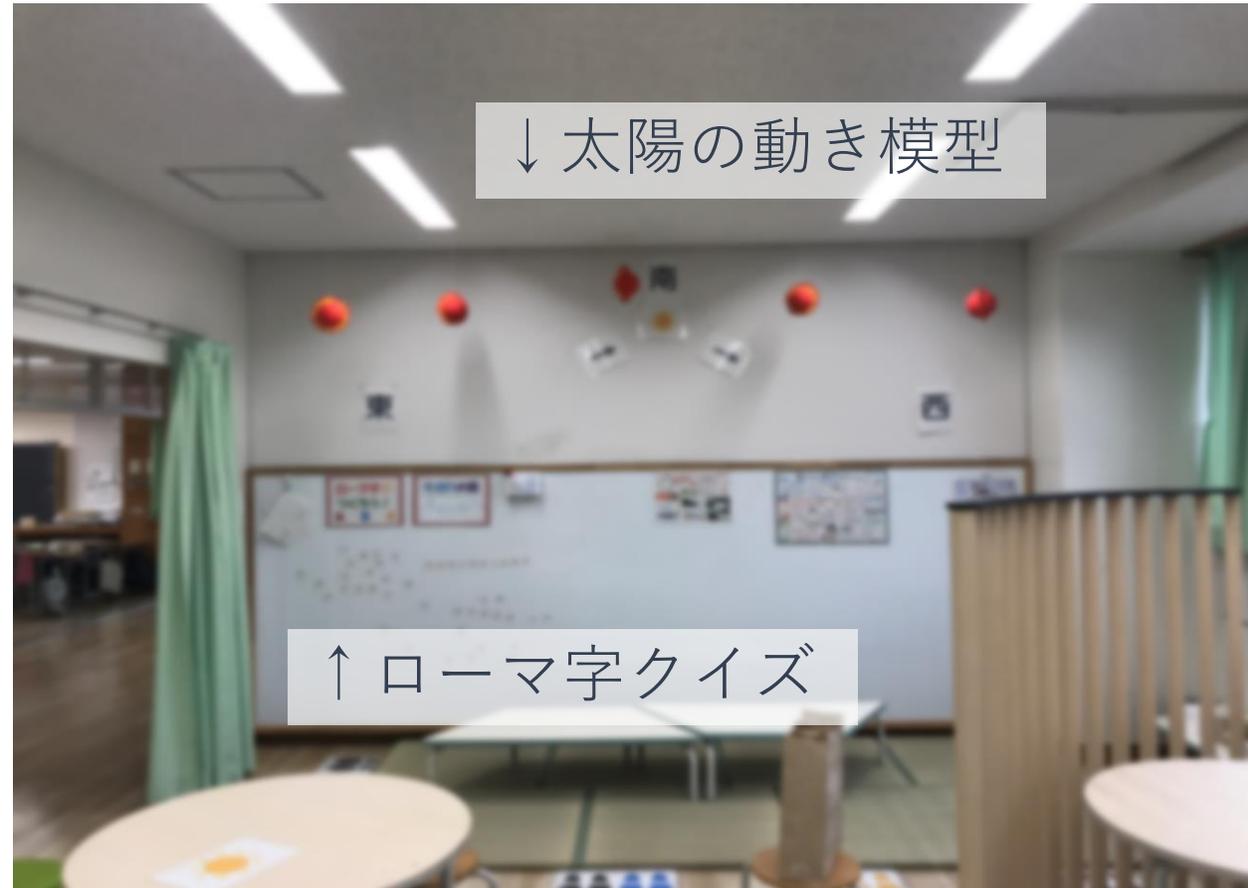
辞書が入った本棚が追加と、学習している単元に対応した学習教材（模型など）を設置。



空間のバリエーションをつくる ⇒ **選べる学習環境づくり**



# 環境づくりと主体的な学び



学年担任の先生方と協働でO.S.に教材展示を開始

# 環境づくりと主体的な学び



休み時間 教材に興味関心を持つ子どもたちの姿



**主体的な学び，学習への興味・関心**

# 教員による主体的な環境づくり



トイレ前アルコーブに教卓を設置



廊下突当りのコーナー化



教室の前方を窓側へ変更

教員の環境づくり・居場所づくりに対する先入観を払拭



教材や家具の設置による**教員の主体的な環境づくりが始まる**

# 教員による主体的な環境づくり

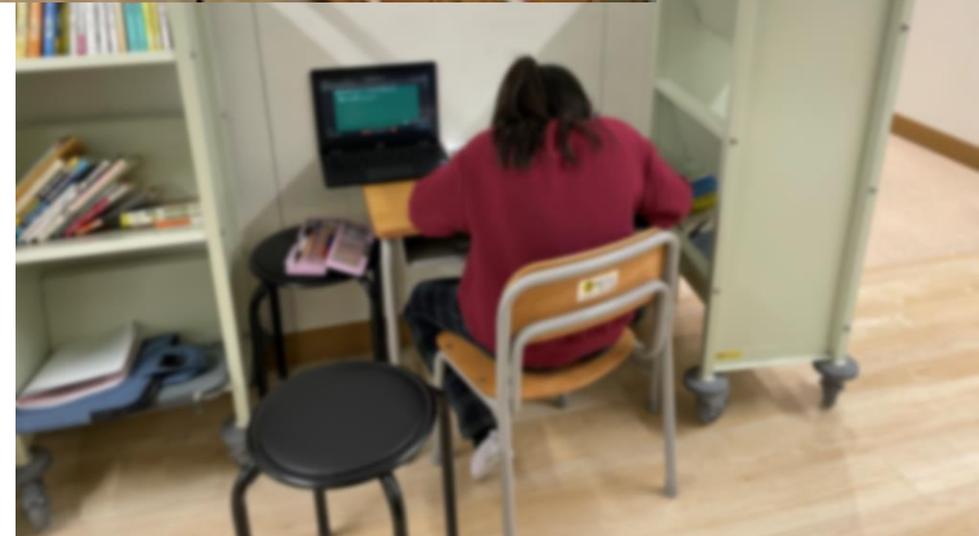


# 環境づくりと主体的・協働的な学び



## DX時代の授業風景の変化

- 対面・同時一斉・一箇所集中
- オンライン・オンデマンド・個別最適
- ツール・場所・姿勢・集団が選べる



# 環境づくりと主体的・協働的な学び

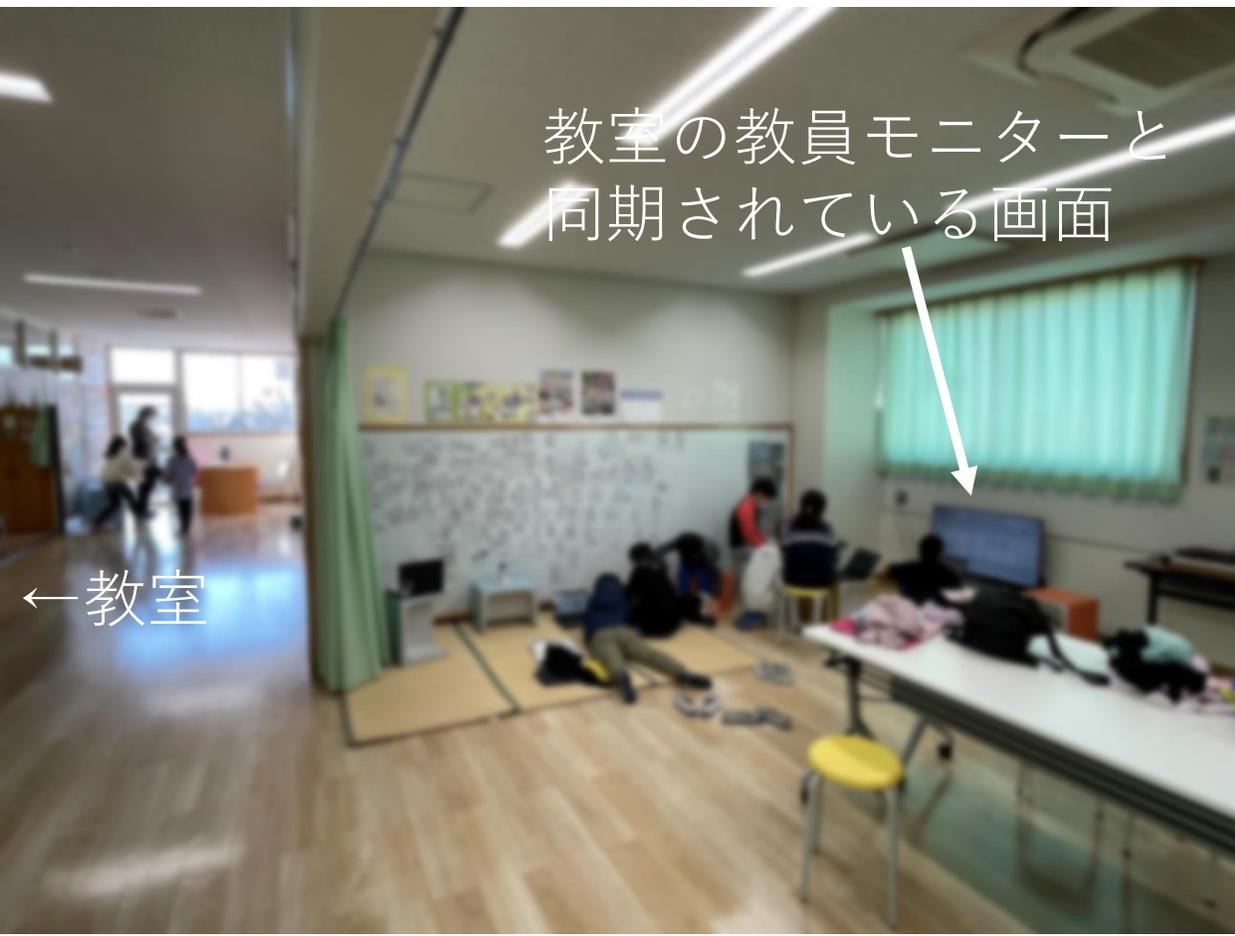


DX時代の授業風景の変化

算数→**学び方を選べる**学年指導



# 環境づくりと主体的・協働的な学び



# 環境づくりと主体的・協働的な学び



それぞれに、それぞれの、集中できる場所、好きな場所を選べる

# 環境づくりと主体的・協働的な学び



多様な選択肢

# 主体性を育む環境=selectability のある環境

板橋区での実践では

居場所づくりの実践 → こどもたちの主体性を育む環境づくり

→ 教師の主体性の向上

→ 教師の働き方の改善

# 私の研究の視点

「学校」という空間を

子どもたちの「学び」「生活」「育ち」のための環境にしたい



環境をツールに変換する先生方の時間をつくりたい  
環境をツールとして使いこなす子どもたちを増やしたい



「主体性」を育む学校 ⇔ 主体的に選べる環境

多様な選択肢と可能性

働く・学ぶ「実空間」の価値を考える

# 私の研究の視点

「学校」という空間を

子どもたちの「学び」「生活」「育ち」のための環境にしたい



環境をツールに変換する先生方の時間をつくりたい  
環境をツールとして使いこなす子どもたちを増やしたい



「共創」の時代

全ての人たちが主体的に「学びの場」を考えていい時代  
こども—教職員—設置者—地域—社会の連携は不可欠